

(国立がん研究センター)とともに要綱案の作成に関わってきた津熊が、はじめに設立総会開催までの経緯を説明し、次いで要綱案を項目(1.ネットワーク構築の目的と活動の範囲、2.会員資格、3.運営委員会、4.事務局、5.地域区分、6.会費)毎に読み上げ、質疑・了承を求める形で議事を進めました。

会員資格については、参加者から多少の疑義照会もありましたが、①アジアで地域がん登録を実施している組織、または、アジア地域のがん罹患・生存率データの収集・分析に関与している機関が、共に投票権を有する正会員となり、②院内がん登録実施組織は、投票権のない準会員に、さらに③がん登録には直接従事していてもアジア地域のがん登録に関心のある者は、投票権のない個人会員に、それぞれなれると規定しました。入会を希望する場合は、ACRN事務局が準備する応募様式に必要な事項を書き入れ、事務局に提出することとしました(要綱案を含め、入会応募様式はIACRアジア代表理事・津熊までご請求下さい<tukuma-hi@mc.pref.osaka.jp>)。

事務局については、ACRNの2年間の活動計画を提案しその遂行を支える組織とし、要綱案の採択後、設立総会で複数の応募から投票により一ヶ所に決する計画でありました。設立総会では、チェンW先生と松田智大先生(国立がん研究センター)が、企画の提案にたちましたが、設立総会に不参加の地域がん登録もあり投票権のある会員の同意が不確実であること、また、事務局を決するにはより具体的な企画書が提示・回覧されることが望ましいとの意見表明があり、事務局の決定は先送りされることになりました。なお、IACRアジア代表理事は、要綱案でACRN事務局の構成員になるとされていることから、事務局が投票により正式に決定・発足するまではアジア代表理事(インドのスワミナサンR先生と津熊)が専らその任に当たることとなります。なお会費は無料とし、ACRNの運営に必要な資金は、事務局、運営委員が調達に努めることとしました。

要綱案は、設立総会で原案通り採択され、現在IACRアジア理事兩名から設立総会参加者及びアジアのIACR会員に対し、設立総会の議事概要、事務局立候補の受付を通知するとともに、会員及び運営委員の応募様式を配布し、運営委員の承認と事務局決定の手続き・投票に向けて、進行しています。ACRNへのご参加・ご支援を宜しくお願い致します。

## 第19回地域がん登録全国協議会 学術集会・公開講座報告

岡本 直幸

神奈川県立がんセンター

第19回地域がん登録全国協議会(JACR)学術集会・公開講座を、平成22年10月15日(金)に横浜市の赤レンガ倉庫で開催いたしました。会員皆様のご協力により、また、学術集会事務局スタッフの皆さまの並々ならぬご協力を受けて、無事に開催することができました。

本年度は第32回国際がん登録協議会(IACR)学術総会に引き続き行いました関係で、例年とは異なった開催になり、皆様にいろいろとご不便をおかけするのではないかと案じておりましたが、多くの方々のご支援をいただき無事に開催できましたことを感謝しております。

先に述べましたように、平成22年10月12~14日に行われましたIACRの学術総会に合わせて開催した関係で、JACRの学術集会のテーマをIACRと同じ「がん登録と社会の調和」として開催させていただきました。全国から150名以上のご参加があり、活気のある会となりましたことを感謝いたします。

午前中はポスター(学術発表19題、登録室紹介26題)でのご発表をいただき、JACR臨時総会開催の後、午後からは公開講座を開催し、地域がん登録の周知と理解を深めていただくための講演会を行いました。

この公開講座では、神奈川県保健福祉局保健医療部長の中沢明紀先生、国際がん登録協議会理事長ブレンダ・K・エドワーズ先生にご挨拶をいただき、引き続きエドワーズ先生、大島明先生(大阪府立成人病センター)を座長に、国際がん研究機関がん情報部部長のデビッド・フォアマン先生から「世界におけるがんの

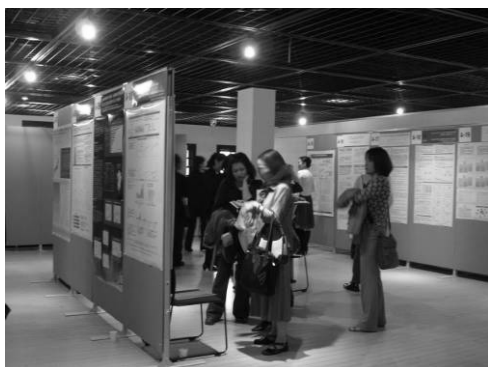


公開講座の座長、演者の先生方

モニタリングとがん対策計画」、韓国国立がんセンターがん登録・生物統計学部部門長のソヒー・パク先生から「韓国におけるがんのモニタリングとがん対策計画」、国立台湾大学公衆衛生学院予防医学研究所教授のメイシュ・ライ先生から「台湾におけるがんのモニタリングとがん対策計画」のご講演をいただきました。休憩を挟んでからは、パク先生、津熊秀明先生（地域がん登録全国協議会理事長）を座長に、国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報統計部部長の祖父江友孝先生から「積極的なモニタリングから有効ながん対策へ～日本の実例より～」のご講演をいただき、そして最後に私の方から「神奈川県のがん登録」について報告させていただきました。

さて、恒例のポスターアワードですが、本年度は学術ポスターから2組、大阪府がん登録からの「地域がん登録資料に基づく研究成果の普及のための教育ツール開発」（発表者、鈴木朋子氏）と長崎県がん登録を用いた「長崎県がん登録に基づく2種類のIM比に関する検討」（発表者、歌田真衣氏）、また、登録室紹介ポスターからは1組「群馬県地域がん登録」（発表者、茂木文孝氏）が選ばれました。それぞれ、新しい試みが評価の対象となりました。

今回のポスター発表で特に感心いたしましたことは、数年前までのポスター発表といえばA4サイズやB4サイズの用紙を何枚も並べる方式（海外では、パッチワークな発表として評判が悪い）であったのですが、今回の発表ではほとんどみられなかったことです。これも、ご発表いただいた皆さまの熱い思いが込められていたからだと思っています。ただ、今回は閲覧時間や討議の時間が十分にとれなかったことが心残りでございます。といっても皆さまのお力で充実したポスターセッションであったと感謝いたしております。皆様、本当にありがとうございました。



ポスター会場の様子



公開講座会場の様子

第19回地域がん登録全国協議会学術集会

日時：平成22年10月15日（金）9：30～16：00

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館（神奈川県・横浜市）

主題：『がん登録と社会の調和～Society and Cancer Registration : towards Harmonization～』

プログラム：

10：00～11：00 ポスターセッション（1.学術2.登録室紹介）

11：10～11：20 ポスター賞表彰

11：20～11：30 （平成22年度実務担当功労者表彰式）

11：30～12：00 （平成22年度臨時総会）

12：00～13：00 昼食

13：00～16：00 公開講座

開会挨拶 中沢 明紀（神奈川県保健福祉局保健医療部長）

ブレンダ K. エドワーズ（IACR 理事長）

座長：ブレンダ K. エドワーズ、大島 明

- 1) 世界におけるがんのモニタリングとがん対策計画  
デビッド・フォアマン（IARC、仏国）
  - 2) 韓国におけるがんのモニタリングとがん対策計画  
ソヒー・パク（国立がんセンター、韓国）
  - 3) 台湾におけるがんのモニタリングとがん対策計画  
メイシュ・ライ（国立台湾大学、台湾）
- 座長：ソヒー・パク、津熊 秀明
- 4) 積極的なモニタリングから有効ながん対策へ～日本の実例より～  
祖父江 友孝（国立がん研究センター）
  - 5) 神奈川県のがん登録

岡本 直幸（神奈川県立がんセンター）

閉会の挨拶 岡本 直幸（会長・神奈川県立がんセンター）